試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

令和 3 年度　一般選抜（第 I 期）試験問題

国　語

注意事項

1. 解答用紙にはマーク用と記述用があります。解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。
   ①氏名欄
   氏名・フリガナを記入しなさい。
   ②空欄
   解答用紙（マーク用）「年月日欄」の右横の空欄に「国語」と記入しなさい。
   ③番号欄
   受験番号を左詰めで記入し、さらに解答用紙（マーク用）には番号欄の下のマーク欄にマークしなさい。
2. この冊子は、問題が 24 ページあります。
3. 試験中に印刷の不鮮明、落丁・乱丁あるいは解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に申し出てください。
4. 受験番号が正しくマークされていない場合、採点できないことがあります。
5. 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。たとえば、［10］と表示のある問いに対して 3 と解答する場合は、（例）のようにマークしなさい。記述式問題は記述用解答用紙に記入しなさい。

（例）

解答番号	解 答 記 入 欄
10	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⓪

6. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

一　次の問に答えなさい。

問一　次の言葉の対義語を、それぞれ1から4の中から選びなさい。解答番号は、①は 1 、②は 2 、③は 3 、④は 4 。

①高尚　1 卑怯　2 卑俗　3 猥雑　4 俗念

②一括　1 配分　2 概括　3 分括　4 分割

③騰貴　1 下落　2 暴落　3 低廉　4 底値

④緩慢　1 唐突　2 即効　3 敏速　4 即席

問二　次の言葉の類義語を、それぞれ1から4の中から選びなさい。解答番号は、①は 5 、②は 6 、③は 7 、④は 8 。

①奔走　1 多忙　2 寸暇　3 尽力　4 繁多

②盲点　1 錯覚　2 死角　3 幻影　4 視界

③憤慨　1 烈火　2 爆発　3 悪態　4 激怒

④措置　1 打開　2 工夫　3 才覚　4 処理

問三　次の語の空欄に、それぞれ1から4の中から漢字を選んで補い、四字熟語を完成させなさい。解答番号は、①は[9]、②は[10]、③は[11]、④は[12]

①才色[　]備　1 兼　2 権　3 健　4 謙

②[　]天動地　1 一　2 衝　3 驚　4 仰

③雲散[　]消　1 霧　2 無　3 夢　4 解

④抱腹絶[　]　1 到　2 刀　3 当　4 倒

問四　次の語の空欄に、それぞれ1から4の中から語を選んで補い、慣用句を完成させなさい。解答番号は、①は[13]、②は[14]、③は[15]、④は[16]

①よい知らせに愁眉を[　]　1 照らす　2 開く　3 上げる　4 注ぐ

②世の辛酸を[　]　1 すすぐ　2 なめる　3 さらす　4 飲み込む

③交渉の中で言質を[　]　1 見る　2 出す　3 取る　4 捨てる

④社長の逆鱗に[　]　1 触れる　2 応じる　3 従う　4 甘える

問五　それぞれの見出しに掲げた言い方を本来の意味で使っているのはどれか。1から3の中から選びなさい。解答番号は、①は 17 、②は 18 、③は 19 、④は 20 。

①枯れ木も山の賑わい

1　先生、明日のパーティー、枯れ木も山の賑わいですから、ぜひいらしてください。

2　お年寄りが大勢参加していたイベントだったので、枯れ木も山の賑わいだった。

3　せっかくのお誘いですから、枯れ木も山の賑わいで、私も出席しましょう。

②溜飲が下がる

1　なくしたと思った財布がやっと見つかり、ほっとして溜飲が下がった。

2　私にいつも嫌みを言う先輩が先生に叱られているのを見て、溜飲が下がった。

3　昨日はクタクタでまるでやる気が出ず、溜飲が下がったままだった。

③人口に膾炙する

1　彼のデビュー作は人気歌手が歌って大ヒットしたこともあって、広く人口に膾炙した。

2　次から次へと不祥事が表面化し、とうとう大臣が人口に膾炙する事態となった。

3　日本では高齢者の数が増加し続け、人口に膾炙する問題が大きな課題となっている。

④篠突く雨

1　外国からの旅行者にとって一番嫌なのは、夏になる前の篠突く雨の季節だそうだ。

2　彼は、突然降り出した篠突く雨をものともせず、ずぶ濡れになって走り去った。

3　今日は篠突く雨が降るらしいが、その程度の降り方なら傘はいらないだろう。

二 **次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。**

本文省略

（水村美苗『読むことのアレゴリー』）

問一 **傍線ア「えい知」、イ「めい題」、ウ「しゅうじ」、エ「かん言」、オ「まにうけて」にあてはまる漢字を、それぞれ次の1から5の中から選びなさい。解答番号はアは** 21 **、イは** 22 **、ウは** 23 **、エは** 24 **、オは** 25

ア「えい知」　1永　2栄　3鋭　4衛　5叡

イ「めい題」　1命　2名　3明　4銘　5謎

ウ「しゅうじ」　1習辞　2修辞　3衆事　4収字　5秀示

エ「かん言」　1還　2観　3歓　4間　5換

オ「まにうけて」　1真　2間　3目　4慢　5摩

問二 **［　一　］、［　二　］にあてはまる語の組み合わせとして最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は、［26］**

1　一＝鈍重　二＝軽薄
2　一＝軽薄　二＝鈍重
3　一＝軽薄　二＝浮薄
4　一＝重厚　二＝鈍重
5　一＝軽率　二＝浮薄

問三 **傍線①「両極端を理解することから無限に遠く離れて」とは具体的にどういうことを表しているのか。最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は、［27］**

1　人間が理解するのは不可能なほど難しいということ。
2　人間は理解することを最初からあきらめているということ。
3　人間は理解することから目をそむけがちだということ。
4　人間が理解するには材料が乏しすぎるということ。
5　人間は常にまちがった理解の仕方をしてしまうということ。

問四　傍線②「能わず」のよみと「理解することしか能わず」の意味を、それぞれ次の1から5の中から選びなさい。解答番号は「よみ」は 28 、「意味」は 29 。

「よみ」

1　おもわず
2　かまわず
3　かなわず
4　あたわず
5　たがわず

「意味」

1　理解することしか考えない。
2　理解することしかやろうとしない。
3　理解することしかできない。
4　理解することしか重要視しない。
5　理解することしかわからない。

問五　傍線③「あまり」と違う使い方をしているものを、次の1から5の文の傍線部の中から選びなさい。解答番号は 30 。

1　あまりの暑さに食欲をなくす。

2 あまり食べるとお腹をこわす。
3 生活費のあまりを貯金する。
4 あまりひどいのであきれた。
5 喜びのあまり我を忘れた。

問六　傍線④「パスカルのテキストはきわめてテキスト・プロダクティヴな――新たなテキストを生みだす可能性に満ちたテキストである」とはどういうことか。最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は 31

1 さまざまな解釈の中に、ただひとつの真理が隠されているテキストである。
2 意味があいまいなので、まちがった解釈がされがちなテキストである。
3 パスカルの名声に乗じた、多くの関連書を生み出す可能性のあるテキストである。
4 パスカル自身にも考えつかないような、突飛な解釈が出てくるテキストである。
5 ひとつの意味だけが読み取れるのではなく、さまざまな解釈のできるテキストである。

問七 **Ⅲ** **にあてはまる最も適当な語を、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は** 32

1 悪条件
2 集大成
3 別問題
4 大前提
5 付属物

問八 **傍線⑤「それ」とは何を指しているか。最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は** 33

1 エピグラムを掲げるのにエピグラフ以上に適切な場所はあり得ないということ。
2 『読むことのアレゴリー』の冒頭にエピグラフとしてエピグラムが掲げられていること。
3 パスカルのエピグラフが『読むことのアレゴリー』のエピグラフとして流用されたこと。
4 本の冒頭に掲げられるエピグラムは、有名な作品からの引用でなければならないこと。
5 エピグラムはエピグラフに掲げられるために文学作品から探されたものであること。

問九　傍線⑥「いわんや『パンセ』の作者パスカルにおいてをや」とはどういう意味か。最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は 34

1　もしも『パンセ』の作者であるパスカルなら、警句を発することができただろうか。
2　『パンセ』の作者であるパスカルなら、必ず良い警句を発することができる。
3　『パンセ』の作者であるパスカルの文章なら、言うまでもなく警句になる。
4　たとえ『パンセ』の作者であるパスカルの言葉でも、警句にはなりにくい。
5　『パンセ』の作者であるパスカルの場合は、警句を発しているとは言えない。

問十　傍線⑦「いったん警句が警句である自明性を失うと、同じ文章がほかの読みかたを可能にし、警句として読まれることを禁じる存在となるのである」とはどういうことか。最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は 35

1 警句が警句らしさを失って普通の文章になってしまうと、読み手もそこから真理を見いだそうという努力をしなくなるので、何も得ることができない。

2 警句であることが理解されないまま読まれてしまうと、その文章に込められた比喩的な意味は読み取られず、字義どおりの意味以外受け取られなくなる。

3 警句のように見えながら実は警句でないことが判明してしまうと、警句以外の意味を読み取ろうと意識されてしまい、固定的な読み方しかされなくなる。

4 警句を読む必要性が感じられなくなると、警句のつもりで書かれた文章であっても警句として読んではいけないのだと、読み手が自主規制してしまう。

5 警句をゆっくり読みすぎると警句でなくなってしまうので、そこに本当は何が述べられているかが理解されなくなり、正反対の解釈がされてしまう場合もある。

三　次の文章を読んであとの問に答えなさい。

本文省略

（髙村　薫『地震、雷、火事、親父』）

問一　傍線①「知見」とはどういう意味か。最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は 36

1　知己と発見
2　知恵と意見
3　知性と見解
4　知能と見聞
5　知識と見識

問二　傍線②「如何ともしがたい」の使い方として最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は 37

1　会社の方針を変えるなど、私には如何ともしがたいことだ。
2　このまま景気がよくなると思うと、如何ともしがたい。
3　あんな近くの駅まで往復するくらい如何ともしがたい。
4　彼のおかげで優勝することができ、如何ともしがたい。
5　大変な苦労をしたが、同時に如何ともしがたい教訓も得た。

問三　傍線③「畏怖と憧憬は紙一重」とはどういうことか。最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は 38

1　人智を超えたものを恐れる気持ちは、人智を賞賛する気持ちとは裏腹の関係にあるということ。
2　恐れる気持ちが強いと、かえってその対象をすばらしいと感じ、あこがれを抱くこともあり得るということ。
3　恐れおののく気持ちが生じる根底には、その対象に対する激しい憎悪の感情が必ず存在するということ。
4　恐れに似た感情は、その対象に愛情を持って接している時に限って生じるものであるということ。
5　相手を恐れる気持ちは、相手を尊敬し従属したいという気持ちと、まったく同じものであるということ。

問四　傍線ア「ひそんで」、イ「じん大」、ウ「かん心」にあてはまる漢字が使われている熟語はどれか。最も適当なものを、それぞれ次の1から5の中から選びなさい。解答番号はアは 39 **、イは** 40 **、ウは** 41

ア「ひそんで」　1慎重　2沈滞　3顕著　4潜伏　5埋没
イ「じん大」　1幸甚　2仁義　3初陣　4迅速　5尋常
ウ「かん心」　1完結　2勘案　3肝要　4貫通　5幹線

問五　傍線④「間違いなく男性だろう」とあるが、それはなぜだと考えられるか。最も適当な理由を、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は 42

1　すべての子どもが父親に対して抱く強い恐れの感情は、人間が自然災害を恐れる気持ちと同じ種類のものであるということを、女性よりも男性の方がよくわかっていると考えられるから。

2　圧倒的な力を持つものの象徴として、母親ではなく父親を自然災害とともに列挙するのは、自分たちを女性よりも偉大な存在と見なしたいという、男性の願望や欲求によるものと考えられるから。

3　男性は、地震や雷や火に匹敵する激しく強い存在であるため、女性や子供に対する優しさを失わないよう自戒の意味を込めて、あえて自分たちを恐いものの象徴として列挙したのだと考えられるから。

4　女性はもともと強い精神力を持っているため、父親を恐れることはほとんどないが、男性は、圧倒的な力に対してすぐ屈服してしまう傾向にあり、父親に対して恐怖心を抱くことが多いと考えられるから。

5　男性は強くなることを幼いときから期待され、父親の厳しいしつけを受けて成長するため、女性が父親を等身大の存在としてとらえるのに比べ、必要以上に恐れを感じる傾向にあると考えられるから。

問六　［　ー　］に入る最も適当な語を、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は 43

1　幻像
2　虚像
3　偶像

4　群像
5　実像

問七　傍線⑤「家父長制度の虚構」とはどういうことか。最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は 44

1　父親は本来、母親よりも弱い立場なので、家族のリーダーであり続けることが大きな負担になりがちだが、社会全体で父親をサポートし、リーダーの自覚を促す必要があるということ。
2　父親が家族を守り、養うことによって、家庭は一つにまとまるのだという日本の伝統的な精神はもはや現代では失われており、家族は父親を尊敬するふりをしているに過ぎないということ。
3　父親を頂点とする家族の自然な結びつきを、より強固なものにするために、本当は母親に比べてあまり役に立たない父親を、立派な存在であると無理にでも思いこもうとすること。
4　父親を家の中心に位置づける制度においては、父親は家族を庇護する強い存在であるよう求められるので、たとえ母親よりも弱くても、強く見せかけなければならないということ。
5　日本人が生み出した独特の制度である、父親を中心に家庭を運営するしくみは、父親を偉大な存在とみなす共通認識を、国家が国民に植え付けることによって成立しているということ。

問八　傍線a「丈」、b「免」、c「直」の読みの組み合わせとして最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は 45

1　aたけ　bまぬか　cただ
2　aじょう　bあなど　cちょく
3　aたけ　bまぬか　cじか
4　aじょう　bのが　cなお
5　aたけ　bあなど　cじか

問九　傍線⑥「地震も雷ももはや象徴性はない」とあるが、それはなぜか。最も適当な理由を、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は 46

1　自然災害が恐れられていたのは、人智を超えた存在として、人間の能力では予測することも回避することも不可能なものであると考えられていたからであったが、現在では自然災害の実体は科学的にほぼ解明され、むやみに恐れる必要がなくなったから。

2　科学技術の急激な進歩によって、地震も雷も綿密な観測データが収集され、それらの詳細な分析が行われるようになったために、どこでいつ発生するかを予測することが可能になり、自然災害に対してまったく脅威が感じられなくなってしまったから。

3　昔の人間は、自然災害の脅威を正しく認識し、きわめて用心深くふるまうことによって災害の被害を避けてきたのだが、あまりにも長い間自然の脅威にさらされ続けたために、現代人の感性はかえって低下し、地震や雷を恐いと思わなくなってきたから。

4　自然災害の被害を少しでも小さくするために、人類が長い歴史の中で続けてきたたゆまぬ努力の結果、科学はめざましい発達を遂げ、自然災害を完全に征圧したばかりでなく、今では地震や雷を超えるような圧倒的な力を見せつけるようになったから。

5　以前は、地震や雷が人類にとっての最大の脅威だと考えられ、恐れられていたのだが、現在ではテロや核戦争の脅威など、自然災害を上回るような新たな脅威が次々と生まれ、人々を恐ろしがらせており、地震や雷などはその存在感をまったく失ってしまったから。

問十　傍線⑦「家族という虚構」において、父親はどのような役割を期待されているか。文中からもっとも適当な箇所を四十字以内で抜き出しなさい。解答は記述解答欄へ

問十一　［　Ⅱ　］に入る最も適当な語句を、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は［47］

1　臆病風に吹かれるだろう
2　弱り目にたたり目だろう
3　元も子もないだろう
4　渡りに船だろう
5　好事魔多しだろう

問十二 [III] **に入る最も適当な語を、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は** [48]

1 非　2 不　3 無　4 否　5 反

問十三 [IV] **に入る最も適当な語句を、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は** [49]

1 尊敬の念で
2 いかなる時も
3 愛情を持って
4 科学の力で
5 恐れていない

（設問以上）

※著作権の関係で、本文は省略させていただいております。
ご覧になりたい方は、本学にお問い合わせください。